

事業報告

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

1. 事業概要

平成23年3月に発生した東日本大震災やこれに端を発した原子力発電所の事故による電力供給不足や計画停電は、本県畜産業に直接あるいは間接的に大きな影響を及ぼし、本会実施事業にも緊急的な対応が求められました。

7月には、原発事故による放射性セシウム汚染が牛肉や稲ワラで確認されたことから牛枝肉価格が暴落し、本会が実施している肉用牛肥育経営安定特別対策事業（新マルキン事業）では、全期間で補てんが発動され、さらに緊急時の対応として、通常は四半期ごとの交付が7月からは毎月の交付となりました。

さらに8月には、売上高の低下によって悪化した肉用牛肥育経営の資金繰り改善のために肉用牛肥育経営緊急支援事業が創設され、本会としても、肉牛経営安定対策の一環として取り組みました。また、牛に汚染稲ワラを給与したことにより発生した放射性セシウムを含む堆肥等を円滑に処理するための調査や牛肉の安全性への消費者の理解と牛肉消費拡大を図るためのキャンペーン、畜産の応援団を育成するための勉強会や酪農場での体験など、消費者の理解を醸成するための事業にも積極的に取り組みました。

また、従来から実施してきた、経営管理や計画達成のための支援対策、自衛防疫組織を中心とした豚オーエスキー病清浄化対策、肉用子牛や肉豚の価格安定対策、家畜の能力向上の基礎となる家畜登録、育種価評価などの事業も、会員各位の支援をいただきながら、県はじめ、畜産関係団体、中央団体等との連携を密にして積極的かつ効率的に実施することに努めました。

公益社団法人への移行については、本年3月21日に県知事より認定書が交付され、4月1日に登記が完了いたしました。食生活に欠かすことのできない安全で良質な畜産物を安定的に供給するための公益事業を中心に、それを支えるための収益事業等についても、生産者のニーズを常に念頭に置きながら積極的に取り組んでいく所存であります。

2. 事業の実施状況

公1(1) 肉用子牛の生産の安定に関する支援事業

ア 肉用牛繁殖経営支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度を補完し、肉用牛繁殖経営の安定化を図るために、子牛価格が発動基準を下回った場合に差額の一部を補てんする事業ですが、発動はありませんでした。

イ 肉用牛繁殖経営支援事業事務費（補助：農畜産業振興機構）

アの事業の円滑な実施を図るための事業を実施しました。

ウ 肉用子牛生産者補給金制度運営体制支援事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者補給金制度の円滑な実施のために、制度運営の体制強化を図りました。

エ 肉用子牛生産者補給金制度運営適正化事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用子牛生産者からの申し込みにより肉用子牛の個体登録をおこなうとともに、販売・保留子牛に市場価格が低落した四半期において、補給金を交付しました。

補給金契約戸数： 447 戸

個体登録頭数： 12,508 頭

（黒毛和種 3,039頭、その他肉専用種 0頭、

交雑種 7,500頭、乳用種 1,969頭）

補給金交付戸数： 21 戸

補給金交付頭数： 1,911 頭

公1(2) 肉用牛肥育経営の安定に関する支援事業

ア 肉用牛肥育経営緊急支援事業（補助：農畜産業振興機構）

原子力発電所の事故発生以降、牛肉から暫定規制値を超える放射性セシウムが検出されたこと等により牛枝肉価格が下落し、資金繰りが悪化して経営の安定に不安が生じている肉用牛肥育経営に、牛飼養頭数に応じた緊急支援金を返還条件付補助金として交付しました。

補助金交付戸数： 191 戸

補助金交付頭数： 38,930 頭

イ 肉用牛肥育経営緊急支援推進事業（助成：畜産経営支援協議会）

アの事業を円滑に実施するための事務を行いました。

ウ 肉用牛肥育経営安定特別対策事業（補助：農畜産業振興機構）

肉用牛肥育経営の肥育牛について個体登録をおこなうとともに、出荷牛に対し、収益性が低下した四半期において補てん金を交付しました。

本年度登録戸数： 282 戸

本年度登録頭数： 32,069 頭

補助金交付戸数： 279 戸

補助金交付頭数： 27,225 頭

公1(3) 養豚経営の安定に関する支援事業

ア 養豚経営安定対策事業（補助：農畜産業振興機構）

豚枝肉平均価格が生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合に、生産者の拠出と国の助成により造成された基金から、差額の8割を補てんする事業を実施しました。

補助金交付戸数： 197 戸

補助金交付頭数： 501,777 頭 （4月～12月）

イ 養豚経営安定対策事業（受託：農畜産業振興機構）

アの事業を円滑に実施するために必要な指導、事務を行いました。

公2(1) 地域の畜産経営への支援指導に関する事業

ア 畜産経営流通対策事業（経営指導推進）（補助：群馬県）

畜産経営の経営改善計画、資金利用計画等の作成・達成のための個別支援、畜産経営データベース等の情報化技術を活用した個別・集団支援、畜産経営の高度化に必要な情報の提供や支援、個人・法人・県域を越えた企業的経営等の多様なニーズに対応した経営支援等を実施しました。また、消費者等から求められる安全で安心な国産畜産物の生産、資源循環の中心としての畜産の役割を十分に果たす観点から、畜産農家が求める経営技術に有用な情報を提供しました。

支援対象戸数： 381 戸

イ 地域畜産支援指導等体制強化事業（補助：地方競馬全国協会）

畜産経営への支援活動、消費者等への理解増進活動、食育への参画、地方競馬の振興等に関する事業効果を高めるための事業を実施しました。

ウ 畜産特別資金等推進指導事業（補助：中央畜産会）

大家畜経営体質強化資金、大家畜経営活性化資金、養豚経営活性化資金借受者の経営の改善及び安定を図るため、指導推進協議会の設置、計画達成指導、経営分析による個別指導等を実施しました。

指導戸数： 35 戸

公2(2) 畜産及び畜産物への理解醸成に関する事業

ア 牛肉を食べて応援しようキャンペーン事業（受託：畜産経営支援協議会）

東日本大震災の影響を受けた牛肉価格の低迷に対応して、牛肉の安全性への消費者の理解と牛肉消費の促進を図るためのキャンペーンを実施しました。

イ 牛肉を食べて応援しようキャンペーン等推進事業）（自主）

アの事業を補完するための事業を実施しました。

ウ 群馬の堆肥普及事業（自主）

良質な堆肥を家庭菜園愛好者等に配布して、畜産に対する理解醸成と堆肥の利用促進を図りました。

参加消費者数： 1,000 人

エ 地域畜産理解増進事業（自主）

畜産物の生産・処理加工までの一連の流れを学ぶための講習会を開催して、畜産物

の利用促進を図りました。

参加消費者数： 63 人

オ 畜産普及啓発推進事業（自主）

「群馬県酪農畜産フェスティバル」において、畜産に対する理解の促進を図るため下記の催しを実施しました。

群馬県畜産共進会、畜産クイズ、ゆで卵無料配布、蜂蜜試食会、豚肉試食会、畜産理解醸成パネル等展示、子豚写生大会

カ 牧場宿泊体験交流事業（自主）

酪農場に宿泊し、搾乳、飼料給与、畜産物加工などの体験により、畜産への理解を深めました。

参加消費者数： 78 人

公3(1) 家畜及び畜産物の安全性確保に関する事業

ア 死亡牛緊急検査処理円滑化推進事業（補助：農林水産省）

24ヶ月令以上の死亡牛のBSE検査を円滑に実施するため、死亡牛の輸送、検査に必要な経費の一部に補助金を交付しました。

補助金交付戸数： 1,579 戸

補助金交付頭数： 3,223 頭

イ 牛せき柱適正管理推進事業促進費交付業務（受託：日本畜産副産物協会）

牛せき柱の適正な管理を実施した食肉処理事業者に支払われる促進費の交付に必要な確認事務を行いました。

対象処理事業者数： 5 社

公3(2) 家畜の悪性疾病による損失対策に関する事業

ア 家畜防疫互助基金造成等支援事業（補助：農畜産業振興機構）

海外悪性伝染病が発生した場合に、淘汰した牛、豚の代替畜の導入費用の一部を生産者等が互助補償する全国的な仕組みについて、生産者等に対する普及啓発、参加手続き事務等を実施しました。

事業参加戸数

牛： 890 戸

豚： 232 戸

公3(3) 農場の生産衛生の強化に関する事業

ア 家畜衛生対策事業（補助：群馬県）

地域ぐるみによる飼養豚に対する豚オーエスキー病ワクチンの全頭接種を奨励するため補助金を交付しました。

補助金交付戸数： 123 戸

補助金対象頭数： 728, 829 頭

イ 家畜生産農場清浄化支援対策事業（補助：農林水産省）

豚オーエスキー病のワクチン接種費用の一部を補助するとともに、牛の吸血昆虫媒介疾病等の発生・流行防止を推進し、家畜の損耗防止と経営の安定を図りました。

	補助金交付戸数	補助金交付頭数
牛	451戸	12,472頭
豚	123戸	728,829頭

ウ 豚オーエスキー病清浄化推進事業（受託：群馬県）

豚オーエスキー病の清浄化を推進するため、オーエスキー病対策協議会、検討会の開催、清浄化推進データの蓄積、広報等を実施しました。

エ オーエスキー病抗体検査促進事業（自主）

豚オーエスキー病の清浄化を図るため、生産農場におけるウイルス抗体保有状況を調査した実績に応じて奨励費を交付しました。

奨励費交付戸数： 241 戸

促進費交付頭数： 3,394 頭

収1(1) 家畜の登録に関する事業

ア 家畜登録事業（自主）

畜種	登録頭数	登記頭数	遺伝子検査頭数
乳牛	3,104頭	—	129頭
和牛	801頭	6,434頭	1,415頭
種豚	84頭	406頭	—
山羊	28頭	35頭	—

イ 家畜登録円滑化事業（自主）

家畜の登録を円滑に進めるために必要な活動を行いました。

収2(1) 畜産生産者の事務受託に関する事業

ア 養豚経営安定対策推進事業（自主）

豚枝肉価格が生産コストに相当する保証基準価格を下回った場合に、契約を締結した肉豚生産者に対してその差額を補てんする事業への参加申し込み、補助金受け取り手続き等の事務を参加者から受託しました。

受託生産者数： 197 戸

収2(2) 畜産団体の事務受託に関する事業

事務受委託契約に基づき、以下の生産者団体等の事務を実施しました。

- ① 群馬県養鶏協会
- ② 群馬県種鶏孵卵協会
- ③ 群馬県養蜂協会
- ④ 群馬県家畜育成牧場連絡協議会
- ⑤ 群馬県山羊・めん羊振興会
- ⑥ 群馬県養豚協会
- ⑦ 群馬県乳牛改良協会
- ⑧ 群馬県和牛改良組合連絡協議会
- ⑨ 群馬県家畜人工授精師協会
- ⑩ 群馬県畜産技術連盟

他1(1) 家畜の能力向上の促進に関する事業

ア 家畜改良推進事業（生涯生産性向上対策）（補助：農林水産省）

生涯生産性等の評価に必要な乳用牛の体型データの収集を行いました。

調査頭数： 800 頭

イ 生産振興対策事業（家畜登録促進）（補助：群馬県）

家畜の能力改良を促進するため、家畜の血統整理や登録・登記を推進しました。

	登録・登記・検定	調査及び移動証明
乳牛	3, 847頭	875頭
和牛	7, 235頭	1, 414頭
種豚	557頭	4, 291頭
山羊	70頭	13頭

ウ 肉用牛経営安定対策補完事業

（中核担い手育成増頭推進）（補助：農畜産業振興機構）

1年間に繁殖雌牛の飼養頭数が増加した事業参加経営に対し、実績に応じて奨励費を交付しました。

補助金交付戸数 3 戸

補助金交付頭数 4 頭

エ 生産振興対策事業（肉用牛繁殖基盤強化）（補助：群馬県）

① 育種価評価普及促進

繁殖牛の育種価データの評価・解析により育種価情報を提供するとともに、解析結果を活用した育種価の普及促進のための研修会を開催しました。

育種価データ数： 42, 289 件

評価頭数： 6, 766 頭

② 高育種価生産利用促進

育種価評価結果から、高育種価と判断された県内農家の繁殖雌牛からの受精卵生産

と地域内利用を支援するため、補助金を交付しました。

受精卵生産戸数： 12 戸

受精卵配布戸数： 13 戸

③ 優良繁殖雌牛導入

一定の要件を満たして肉用牛生産者集団が導入した優良繁殖雌牛に対して補助を行い、本県肉用牛繁殖基盤の強化を図りました。

導入戸数： 24 戸

導入頭数： 27 頭

オ 生産振興対策事業（乳牛等改良促進）（補助：群馬県）

① 第15回群馬県共進会（種豚の部）

出品頭数： 37 頭

② 第15回群馬県畜産共進会（乳牛の部）

出品頭数： 87 頭

③ 第15回群馬県共進会（繁殖和牛の部）

出品頭数： 64頭8組

④ 第10回和牛全共出品対策

出品対象頭数： 244 頭

カ 生産振興対策事業（養豚生産基盤強化）（補助：群馬県）

① 飼養管理技術向上

種豚生産農場における飼養管理技術の向上を図るため、衛生管理状況および種豚生産利用調査を実施しました。

調査戸数： 22 戸

② 優良種豚導入

優良種豚を国内及び海外から導入して種豚生産者へ貸し付けました。

導入頭数： 国内10 頭 海外13 頭

キ 優良繁殖雌牛普及促進事業（特別：家畜改良積立金）

高い能力を持った繁殖雌牛を広く普及させ、県内飼養牛の能力向上を図るため、高能力精液、高能力受精卵の購入費用の一部に助成しました。

高能力精液購入費用助成件数： 152 件

受精卵購入費用助成件数： 66 件

ク 和牛全共出品対策事業（特別：家畜改良積立金）

第10回全国和牛能力共進会の出品対策として、出品候補牛の分娩調査、和牛改良組合に対する管理指導及び巡回調査を実施するとともに、候補牛の導入費用の一部に助成しました。

分娩調査頭数： 124 頭

管理指導依頼組合数： 8 組合

候補牛導入頭数： 9 頭

ケ 肉用牛産肉能力平準化促進事業（受託：家畜改良事業団）

肉用牛の産肉能力を評価するために調整交配を実施し、その結果を調査してとりまとめました。

調整交配実施頭数： 99 頭

コ 和牛改良組合活性化事業（受託：群馬県和牛改良組合連絡協議会）

和牛改良組合内の繁殖雌牛飼養実態を調査するとともに、各組合で定めた繁殖雌牛改良目標達成のための指導を実施しました。

指導組合数： 8 組合

サ 家畜共進会運営強化推進事業（自主）

地域で行う家畜共進会関連事業の実施に必要な費用の一部を助成しました

助成共進会数： 8

シ 第19回群馬県肉豚共進会事業（自主）

種豚の資質向上を目的として肉豚共進会を開催しました。

出品頭数： 106 頭

ス 全和ブロック会議等支援事業（自主）

全国和牛登録協会が実施する東日本ブロック会議開催に必要な支援を実施しました。

会議参加者数： 122 人

他1(2) 家畜の衛生管理の強化に関する事業

ア 予防注射推進強化対策事業（助成：中央畜産会）

家畜防疫事業の推進と予防注射の実施の徹底を図るため、資料等を配付して普及啓蒙を図りました。

イ 馬飼養衛生管理特別対策事業（受託：中央畜産会）

競走馬以外の馬飼養者への実態調査を実施して、馬衛生管理技術の向上を図りました。

調査戸数： 28 戸

ウ 家畜衛生推進事業（自主）

家畜生産農場清浄化支援対策事業の補完事業として、事業を円滑に実施するために必要な事務、予防注射に必要な資材の購入、注射に要した費用の支払い等を実施しました。

エ 家畜衛生対策運営基盤強化事業（自主）

家畜衛生関係事業の効率的な事務処理を図るために必要な、データ処理システムの作成および管理を行いました。

オ 公共牧場予防接種円滑化対策事業（自主）

公共牧場の預託牛が補助事業により予防接種を行う場合の手続き等について定めるとともに、接種費用の自衛防疫協議会間の格差を是正するための奨励費を交付しました。

奨励費交付団体数： 15 団体

受益頭数： 191 頭

他1(3) 畜産経営の人材確保と労力負担の軽減に関する事業

ア 獣医師養成確保修学資金貸与事業（補助：農林水産省）

獣医学を専攻する学生のうちで産業動物獣医師を志す者に対し、共同負担者とともに修学資金を貸与しました。

修学資金貸与人数： 5 人

イ 酪農経営安定化支援ヘルパー事業（補助：農畜産業振興機構）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加した場合の利用料負担の軽減を図るため、増加分の経費の一部を補助しました。さらに、酪農ヘルパーの業務において生じた財物の損害を補償するための保険料の一部を補助しました。

負担軽減件数： 42 件

保険料補助組合数： 13 組合

ウ 新規就業者確保・定着促進事業（助成：中央畜産会）

畜産分野への就業の促進を図るため、雇用状況に関する調査、就業相談会等における畜産に関する情報提供、高校生への啓発活動等、新規就業者の確保・定着を促進するための活動を行いました。

エ 酪農ヘルパー事業円滑化対策事業（特別：農畜産業振興機構）

酪農ヘルパーの育成・定着を図るのに必要な体制の整備及び熟練した酪農ヘルパー要員確保の推進、ヘルパー作業の適切な実施に必要な資格の取得等に必要な経費に対する補助を実施しました。

実施組合数： 11 組合

オ ぐんま型シェアミルク推進事業（受託：群馬県）

酪農業の新規就業者を確保するため、第三者への経営継承を希望する農家への調査、情報提供、マッチングサポートなどの活動を行いました。

カ 酪農経営安定支援ヘルパー事業業務委託事業（受託：酪農ヘルパー全国協会）

酪農ヘルパー利用組合の組織運営体制の調査、加入農家等の利用実績管理状況及び加入農家等の利用実態等の調査を実施しました。

補助対象組合数： 13 組合

キ 資源循環型畜産確立推進事業（自主）

補助事業等により設置したふん尿処理施設の抱えている課題等に関する現地調査および現地指導を実施し、家畜ふん尿の適切な処理を推進しました。

現地調査及び指導戸数： 10 戸

ク 豚枝肉格付分析情報提供事業（自主）

豚枝肉格付データを収集し、独自の分析を加えた情報を四半期毎に提供して、豚枝肉品質改善を促進しました。

事業参加戸数： 101 戸

ケ 酪農ヘルパー傷病時等利用互助事業事務費（自主）

酪農従事者が病気、事故等により就業不能となり、ヘルパー利用が一時的に増加した場合の利用料負担の軽減を図るための互助制度において、互助金の交付関係事務を実施しました。

加入者数： 454 戸 932 名

他1(4) 畜産経営の支援や調査に関する事業

ア 家畜・生産用資材等情報収集・提供ネットワーク体制構築事業

（補助：全国肉用牛振興基金協会）

地震、津波及び台風等の災害の影響等を受けて困窮している肉用牛農家等の早期復帰を支援するため、必要とする飼料等の生産用資材の供給可能数量や家畜の避難が必要な場合の一時受け入れ可能場所等に関する情報のデータベース化を図る全国的な仕組みに提供する県内情報を収集しました。

イ 放射能汚染軽減対策等調査事業（助成：日本草地畜産種子協会）

原子力発電所の事故により発生した放射性セシウムを含む堆肥等を焼却処理した場合の課題等について調査を実施しました。

調査戸数： 1 戸

ウ 貸付事業指導等事業（受託：畜産近代化リース協会）

畜産近代化リース協会が貸付けた機械・車両等についての保守管理及び適正な使用に関する指導を実施しました。

指導貸付先数： 10 戸

エ 草地林地一体的利用総合整備事業経営調査（受託：群馬県）

飼料生産基盤の整備拡充により経営の安定を図る目的で実施している補助事業への参加希望者の経営調査を実施しました。

調査戸数： 2 戸

オ 動産担保融資活用体制整備事業（補助：中央畜産会）

家畜等を対象とした動産担保融資の利用状況や動産担保融資に対する考え方、動産担保融資を実施する場合のモニタリング項目などについて調査を実施しました。

調査戸数： 2 戸

カ 畜産経営支援情報活用事業（自主）

本会等が実施した畜産経営に対する支援情報の活用を図るため、支援情報データベースを構築しました。

データ登録数： 1, 829 件

キ 畜産経営情報公開支援事業（自主）

畜産経営情報を公開する場所を安価に提供することにより、畜産経営のニーズに応えると共に、本県畜産に関するポータルサイトとしての「ぐんまの畜産」ホームページの役割強化を図りました。

事業参加戸数： 12 戸

ク 畜産生産技術改善等経営管理支援事業（自主）

適切な生産管理に必要なデータを蓄積して、低コストで品質の高い肥育牛の生産が維持、拡大されることを目的に、肥育牛の生産情報を管理・分析するシステムを作成しました。

ケ 放射性物質検査体制整備事業（自主）

中央畜産会より貸与された放射性物質検査機器を、団体等に期間を定めて貸し出すことにより、機動的な放射性物質検査体制を整備しました。

他1(5) 畜産経営体等への指導に関する事業

ア 公庫資金活用推進事業（農業経営サポート調査）（受託：中央畜産会）

日本政策金融公庫資金の借りに際して必要な経営計画の作成等について、希望する生産者への支援を実施しました。

支援戸数： 1 戸

他1(6) 畜産振興等に関する事業

ア 飼料牧野振興対策事業（公共牧場利用促進）（補助：群馬県）

公共牧場の機能強化、入牧利用率の向上を図るため、簡易な放牧施設の整備、草地更新放牧地の害虫駆除、外部寄生虫駆除に必要な経費の一部を補助しました。

補助金交付牧場数： 4 カ所

イ 生産振興対策事業（はちみつ品質向上）（補助：群馬県）

みつ源となる植物の種子や苗木を購入してみつ源を確保するとともに、抗生物質等の残留検査を実施してはちみつの品質向上を図りました。

検査件数： 142 件

ウ 生産振興対策事業（養鶏振興推進対策）（補助：群馬県）

鶏卵の栄養知識に関する啓発資料を作成し、消費者に鶏卵の栄養知識を普及する活動を実施するとともに、各種イベント等に参加し、県産鶏卵の宣伝活動を実施しました。

エ 鶏卵鶏肉出荷予測事業（鶏卵）（受託：群馬県）

県内採卵鶏業者に対し、年2回（6月、12月）生産動向等の調査を行い、需給の見通しについて資料を作成しました。

調査戸数： 36 戸

オ 養蜂振興対策事業（養蜂流通実態調査）（補助：群馬県）

良質で安定したはちみつ生産に必要な、県外転飼状況、品質表示状況、みつ源等の調査を実施しました。

調査戸数： 169 戸

カ 「群馬の豚」生産推進事業（自主）

養豚農場及び養豚農家が構成するグループの生産情報の適切な管理指導を評価するための委員会を開催し、優れた農場、グループを本会が認定する仕組みを作りました。

キ 畜産協会情報提供事業（自主）

畜産農家に有用な情報等を掲載した情報誌を4回発行して、生産者、関係団体等に配布するとともに、本会ホームページにおいて広く情報提供しました。

配布数： 4回 600 部